

Technical News Bulletin

Steinhausen, September 2009



エムハート・グラス・クロマチック肉厚検査システム

- 最大4つの測定ヘッドをサポートし、最小厚さ、最大厚さ、楕円率、および厚さ比（最大/分）を測定するように設定できます。
- 色の厚さの検査により、非円形の測定機能が向上し、セットアップが容易になります。
- 測定はより正確で再現性があります。

エムハート・グラスは新しい肉厚検査システムの開発・統合を完了致しました。このシステムは、Veritas iM 検査機と近々発売される FleXinspect 検査システムのオプションとして発売されました。このクロマチック・システムはドイツ Precitec Optronics GmbH 社の M4 CHRcodile システムをもとに共同開発されたものです。10 月 1 日付、クロマチック・システムは現行の VMA 光学式肉厚検査システムに加え、Veritas iM の推奨肉厚検査オプションとなりました。Precitec M4 CHRcodile と VMA TMC/WRH の両方とも、Veritas および FleXinspect のオプションとして搭載可能となります。

詳細

このシステムは、最大 4 つの検査ヘッドを使用でき、最小肉厚、最大肉厚、最小/最大肉厚比、だ円度(ヘッドからの距離)を検査します。

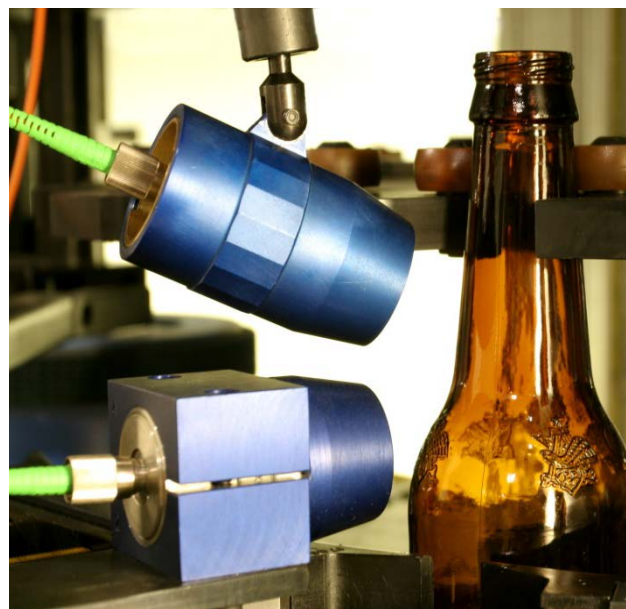
クロマチック肉厚検査システムの電装機器はシングル・ラックマウント形式となっています。検査設定は Veritas 画面から行えます。

本装置はパーツナンバー26406A1-4として既存の Veritas iM に搭載可能です。パーツナンバーの末尾の数字は検査ヘッド数を表しています。

利点

本機の利点は変形量対応と設定の簡易化です。計測ダイナミックレンジの増大によりネック部の肉厚計測を容易にしました。さらに計測値は高精度で再現性の高いものとなっています。

利点はヘッド自身のデザインに起因します。びん経路に配置する部品は、数枚のガラスレンズとそれらのマウントになります。びんから 30mm 離し設置することや、びん経路にデリケートな電装部品を配置しないことで、破びんによる損傷リスクを軽減します。



The new Emhart Glass chromatic system's transmitters and receivers can be mounted from the check detection rings of the Veritas iM and FleXinspect T and enable greater flexibility for wall thickness inspection.



シングル・ラックマウント 電装機器

精度

テストの結果、精度と再現性は市場に現存するシステムより高いことが証明されました。再現性は測定回数の 65% が $\pm 1.0\%$ 以内、90% が $\pm 3.0\%$ 以内に収まります。この再現性は最小肉厚・最大肉厚の測定に適応します。

クロマチック肉厚検査システムをエムハート・グラス検査機に統合した場合、ホストマシン(Veritas iM 又は FleXinspect)から設定を行うことができます。ビルトインされたユーザーインターフェースは、システムが今検査しているものをグラフ表示します。オペレータが、この生データをリアルタイムに見ることで、精度の高い設定を実現することが出来ます。

エムハート・グラス・クロマチック肉厚検査システムのさらなる情報は、弊社営業へお問い合わせください。

